資料4

潜在候補地リスト（案）

	重要湿地番号	湿地名	都道府県市町村	基準1										基準2				基準3								基準4	基準5	基準6	基準7	基準8	基準9	選定理由	基準2（1種のみ）	
				湿原	河川	湖沼	地下水系	塩性湿地	マングローブ湿地	河口域	干潟	藻場	サンゴ礁	鳥類	両生類	魚類	昆虫類	植物	海藻	海草	マングローブ	両生・爬虫類	魚類	昆虫類	底生生物									
1	3	大沼・メグマ沼湿原、声問川	北海道稚内市													●																＜基準2＞ ・イトウの生息地	●	1
2	4	猿払原野 （モケウニ沼、カムイト沼、瓢箪沼、ポロ沼、猿骨沼、猿払川など）	北海道宗谷郡猿払村	●												●		●														＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湿原（日本では数少ない気候性泥炭地） ＜基準2＞ ・イトウの生息地 ＜基準3＞ ・北方針葉樹林が周辺に広がる腐食栄養湖沼の水生植物相の典型（ナガバエビモ、ヒロハノエビモ、ミズバショウ、コウホネなど）		3
3	7	天塩川	北海道天塩郡天塩町・幌延町・豊富町、中川郡中川町・音威子府町・美深町、名寄市、上川郡下川町、士別市													●												●				＜基準2＞ ・イトウの生息地 ＜基準6＞ ・オオヒシクイの1%基準クリア（振老旧川） ・かつてのチョウザメの遡上河川		2
4	9	コムケ湖	北海道紋別市											●														●				＜基準2＞ ・ヘラシギの0.1%基準クリア ＜基準6＞ ・オオハクチョウの1%基準クリア		2
5	11	サロマ湖	北海道北見市、常呂郡佐呂間町、紋別郡湧別町			●		●			●	●								●					●							＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湖沼、塩性湿地、干潟、藻場 ＜基準3＞ ・日本最大の潟湖性海草藻場。広大なアマモ群落 ・エゾタマキビ、キタノオオノガイなど寒流系の底生生物が生息する他、重要な漁業資源であるホッカイエビが海草藻場に多数生息する		6
6	12	能取湖	北海道網走市			●		●			●									●					●							＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湖沼、塩性湿地（アッケシソウ、ウミミドリ、ハマシオン、ウシオツメクサなど塩生植物群落）、干潟 ＜基準3＞ ・スゲアマモの広大な藻場で、分布は湖内の西岸。スゲアマモの単純群落では国内最大、その他、アマモ、コアマモの群落がある ・底生生物相が豊富であり、エゾタマキビ、オオノガイ、ソトオリガイが多産する他、多毛類の多様性が高い		5
7	13	網走湖	北海道網走市、網走郡大空町			●																										＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湖沼		1
8	15	知床半島サケ・カラフトマス遡上河川	北海道斜里郡斜里町、目梨郡羅臼町、標津郡標津町		●									●																●		＜基準1＞ ・生物地理区を代表する自然度の高い河川 ＜基準2＞ ・シマフクロウの代表的な生息地 ＜基準8＞ ・サケ、カラフトマスの自然遡上が見られるという点で固有であり、遺伝資源的に重要		3
9	17	知床半島東部沿岸	北海道目梨郡羅臼町									●							●													＜基準1＞ ・生物地理区を代表する藻場 ＜基準3＞ ・希少種であるアツバスジコンブとカラフトトロロコンブが生育し、種の多様性が高い。コンブ、その他海藻は暖寒両系から成り、生態的景観に優れる		2
10	19	標津湿原	北海道標津郡標津町													●																＜基準2＞ ・イトウの生息地	●	1
11	20	茨散（バラサン）沼湿原、兼金沼・西別川湿原	北海道野付郡別海町	●												●																＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湿原 ＜基準2＞ ・イトウの生息地		2

	重要湿地番号	湿地名	都道府県市町村	基準1									基準2				基準3							基準4	基準5	基準6	基準7	基準8	基準9	選定理由	基準2（1種のみ）	
				湿原	河川	湖沼	地下水系	塩性湿地	マングローブ湿地	河口域	干潟	藻場	サンゴ礁	鳥類	両生類	魚類	昆虫類	植物	海藻	海草	マングローブ	両生・爬虫類	魚類	昆虫類	底生生物								
12	21	根室湿原群 （根室半島湿原、ホロニタイ・フレシマ湿原、タンネ沼・オンネ沼、南部沼、長節沼、落石岬湿原、落石西湿原、落石湿原、ヒキウス沼、沖根辺沼）	北海道根室市	●														●													＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湿原（日本では数少ない気候性泥炭地） ＜基準3＞ ・ネムロコウホネ、沈水性ヒルムシロ属等水草の種の多様性が高く、北海道本来の湖沼の水生植物相（ネムロコウホネ、エゾヒルムシロ、スギナモ、オオタヌキモ、ナガバエビモなど）が残る。*特に南部沼が良好* ・原野の原風景の中に沼が点在しており、北海道の中でも重要な植物が多数残っている		2
13	22	根室湾干潟・温根沼	北海道根室市								●			●										●			●				＜基準1＞ ・生物地理区を代表する干潟 ＜基準2＞ ・タンチョウの1%基準クリア ＜基準3＞ ・キタユムシ、アナジャコ、キタイソメが豊富に見られ、底生生物の多様性が高い。また、潮間帯にウバガイが多産する ＜基準6＞ ・タンチョウの1%基準クリア		4
14	28	厚岸湾	北海道厚岸郡厚岸町、釧路郡釧路町									●							●	●											＜基準1＞ ・生物地理区を代表する藻場 ＜基準3＞ ・種の多様性、規模ともに最大。海洋条件の異なる場所に応じた各種コンブ目が豊富に生育し、生態的景観に極めて優れる。寒流系コンブ類の多様性が見られる典型的海域 ・大黒島、小島（外海域）アイニンカップ岬の周辺海域およびアイカップ岬の沿岸域。国内最大のオオアマモの単純群落が見られる唯一の場所。スガモ、アマモも生育する。既にラムサール条約湿地に登録されている厚岸湖と生態系が連続的につながる		3
15	34	十勝海岸湖沼群 （十勝川河口湿原、長節沼、湧洞沼、キモントウ、生花苗沼、当縁湿原、ホロカヤントウ沼など）	北海道中川郡豊頃町、広尾郡大樹町	●										●				●									●				＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湿原 ＜基準2＞ ・タンチョウの1%基準クリア ＜基準3＞ ・河口域に隣接する湖沼群は自然性が高く、多様な塩分濃度の汽水域と、それに対応して多様な植物相が存在する ＜基準6＞ ・タンチョウ、マガンの1%基準クリア		4
16	35	十勝川下流域湖沼群 （十勝川流域、十勝川水系河跡湖群、三日月沼、育素多沼、池田キモントウなど）	北海道中川郡豊頃町、十勝郡浦幌町、中川郡池田町											●				●									●				＜基準2＞ ・タンチョウの1%基準クリア ＜基準3＞ ・河跡湖が多数残り、河跡湖特有の水生植物の種の多様性が高い（ヒシモドキ、ヒンジモ、ヒロハノエビモ、キタミソウ、コアマモなど） ＜基準6＞ ・タンチョウ、オオヒシクイ、ハクガンの1%基準クリア		3
17	37	朱鞠内湖とその上流域	北海道雨竜郡幌加内町													●														＜基準2＞ ・イトウの生息地	●	1
18	39	大雪山系トムラウシ山周辺湿原群 （高根ヶ原、忠別沼、五色ケ原、沼ノ原、沼の平、ヒサゴ沼、銀杏が原湿原、トムラウシ南麓湿原など）	北海道上川郡新得町・上川町・美瑛町	●																										＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湿原		1
19	43	金山湖とその上流域	北海道空知郡南富良野町													●														＜基準2＞ ・イトウの生息地	●	1
20	46	旧長都沼および周辺水田	北海道夕張郡長沼町、千歳市																							●	●			＜基準5＞ ・ガンカモ類の2万羽基準クリア ＜基準6＞ ・オオハクチョウ、マガン、オオヒシクイの1%基準クリア		2
21	58	大沼	北海道亀田郡七飯町			●																								＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湖沼		1

	重要湿地番号	湿地名	都道府県市町村	基準1									基準2				基準3								基準4	基準5	基準6	基準7	基準8	基準9	選定理由	基準2（1種のみ）	
				湿原	河川	湖沼	地下水系	塩性湿地	マングローブ湿地	河口域	干潟	藻場	サンゴ礁	鳥類	両生類	魚類	昆虫類	植物	海藻	海草	マングローブ	両生・爬虫類	魚類	昆虫類	底生生物									
22	60	函館湾周辺沿岸	北海道函館市、北斗市、上磯郡木古内町																								●				＜基準6＞ ・コクガンの1%基準クリア		1
23	62	下北半島大間崎周辺沿岸	青森県下北郡大間町・佐井村									●																			＜基準1＞ ・生物地理区を代表する藻場		1
24	63	下北半島沿岸北部	青森県下北郡東通村、むつ市																								●				＜基準6＞ ・コクガンの1%基準クリア		1
25	64	小川原湖湖沼群 （尾駮沼、鷹架沼、市柳沼、田面木沼、高瀬川、小川原湖など）	青森県上北郡東北町・六ヶ所村、三沢市			●																					●				＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湖沼 ＜基準6＞ ・オオハクチョウ、オナガガモ、スズガモの1%基準クリア ・本地域にしかいない二枚貝タカホコシラトリの生息分布は極めて貴重		2
26	66	陸奥湾南部 （野辺地湾、青森湾東岸、小湊浅所海岸、原別海岸）	青森県青森市、上北郡野辺地町、東津軽郡平内町																								●				＜基準6＞ ・オオハクチョウ、コクガンの1%基準クリア		1
27	66	陸奥湾北部 （大湊湾）	青森県むつ市								●													●			●				＜基準1＞ ・生物地理区を代表する干潟 ＜基準3＞ ・干潟面積は陸奥湾内では最大規模。底生生物のいくつかの種において分布北限や隔離個体群となっている他、全体的に種多様性が高い ＜基準6＞ ・コクガンの1%基準クリア		3
28	69	十三湖・岩木川河口域	青森県北津軽郡中泊町、五所川原市、つがる市			●				●																					＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湖沼、河口域 ・河口域には広大なヨシ原が存在し、オオセッカの繁殖地となっている。また、十三湖は浅い汽水湖として特異的である ・マルタウグイの地方変異型ジュウサンウグイの分布		2
29	70	屏風山湿原池沼群 （平滝沼、ベンセ沼湿原、コケヤチ湿原、屏風山湿原など）	青森県つがる市	●																			●								＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湿原 ＜基準3＞ ・ゲンゴロウ類を始めとした水生甲虫の希少種が集中分布している		2
30	72	八甲田山湿原群 （田代平湿原、睡蓮沼、八甲田山高層湿原・雪田草原、黄瀬沼周辺、蔦沼周辺）	青森県青森市、十和田市、平川市	●																											＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湿原		1
31	75	八幡平周辺湿原群 （八幡平湖沼群、八幡沼、ガマ沼、蓬莱沼、黒谷地、御在所湿原、赤川源流域湿原、八幡平湿原、黒谷地、夜沼、蒸ノ湯大谷地、長沼、大沼、大場谷地、熊谷地、前谷地など）	岩手県八幡平市、秋田県鹿角市、仙北市	●														●					●									＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湿原 ＜基準3＞ ・貧栄養水域性の水生植物や周極要素の水生植物（ハリナズナなど）が隔離分布する場として重要 ・冷涼な気候の影響を受け、日本では唯一アラスカやカムチャツカ等に生息するオオメミズムシが生息する他、チシマミズムシ等の北方系の昆虫が生息		3
32	80	陸中リアス海岸の湾奥沿岸湿地群 （山田湾、船越湾、大槌湾、宮古湾、釜石湾など）	岩手県宮古市、下閉伊郡山田町、上閉伊郡大槌町、釜石市など																	●											＜基準3＞ ・世界一長いタチアマモ、南限と思われるオオアマモが分布。内湾の海草藻場から外洋に面した海藻藻場まで生態系が連続的に変化 ・外洋に面した海藻藻場も含めて広域に設定した方がより効果的		1
33	84	志津川湾	宮城県本吉郡南三陸町																●												＜基準3＞ ・寒海性コンブ目と暖海性コンブ目が共存する海域の代表的な藻場として貴重である。アラメ群落の北限に近い		1
34	85	万石浦	宮城県石巻市、牡鹿郡女川町								●													●							＜基準1＞ ・生物地理区を代表する干潟 ＜基準3＞ ・岸辺に植生帯は少ないものの、干潟に多くの底生生物が生息し、ウミニナ、カワアイ、ツブカワザンショウなどの他スジホシムシも比較的多く見られる。通水路に近いアサリ漁場での底生生物の種の多様性が高い		2

	重要湿地番号	湿地名	都道府県市町村	基準1									基準2				基準3								基準4	基準5	基準6	基準7	基準8	基準9	選定理由	基準2（1種のみ）	
				湿原	河川	湖沼	地下水系	塩性湿地	マングローブ湿地	河口域	干潟	藻場	サンゴ礁	鳥類	両生類	魚類	昆虫類	植物	海藻	海草	マングローブ	両生・爬虫類	魚類	昆虫類	底生生物									
35	86	松島湾	宮城県東松島市、宮城郡松島町・利府町・七ヶ浜町、塩竈市									●												●							＜基準1＞ ・生物地理区を代表する藻場 ＜基準3＞ ・内湾の多島海で様々なタイプの干潟が散在する。関東以北ではここにだけイボウミニナが生息し、クビキレガイモドキも数カ所で確認された。全体として底生生物の種の多様性が高い		2
36	92	北上川（追波湾）河口域・長面浦	宮城県石巻市、登米市							●							●										●				＜基準1＞ ・生物地理区を代表する河口域 ＜基準2＞ ・ヒヌマイトトンボの生息地 ＜基準6＞ ・コクガンの1%基準クリア ・河口域に広大なヨシ原が保持されており、原風景をとどめている		3
37		迫川 （若柳地区）	宮城県栗原市若柳町																								●				＜基準6＞ ・コハクチョウの1%基準クリア		1
38		阿武隈川河口域	宮城県岩沼市、亘理郡亘理町							●																					＜基準1＞ ・生物地理区を代表する河口域		1
39	95	小友沼	秋田県能代市																							●	●				＜基準5＞ ・ガンカモ類の2万羽基準クリア ＜基準6＞ ・マガンの1%基準クリア		2
40	96	男鹿半島沿岸	秋田県男鹿市									●																			＜基準1＞ ・生物地理区を代表する藻場		1
41	97	大潟村干拓地	秋田県南秋田郡井川町・大潟村・五城目町・八郎潟町、潟上市、山本郡三種町、秋田市																								●				＜基準6＞ ・ヒシクイの1%基準クリア		1
42		玉川 （鶯野付近）	秋田県大仙市、仙北市																								●				＜基準6＞ ・オオハクチョウの1%基準クリア		1
43	107	鳥海山湿原群 （竜ヶ原湿原、稲倉岳北面雪田、鳥海山雪田群、御浜扇子森雪田群、千畳ヶ原、荒神岳北面、心字雪田群、飯ヶ森湿原、河原宿湿原、大清水湿原など）	秋田県にかほ市、由利本荘市、山形県飽海郡遊佐町、酒田市	●																											＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湿原		1
44	109	最上川河口域	山形県酒田市							●																●	●				＜基準1＞ ・生物地理区を代表する河口域 ＜基準5＞ ・ガンカモ類の2万羽基準クリア ＜基準6＞ ・オオハクチョウ、オナガガモ、コハクチョウの1%基準クリア ・カワヤツメ、サクラマス、日本海型イトヨなどの遡上路として重要。ウケクチウグイの生息地。		3
45	118	松川浦	福島県相馬市								●						●								●						＜基準1＞ ・生物地理区を代表する干潟 ＜基準2＞ ・ヒヌマイトトンボの生息地 ＜基準3＞ ・仙台湾沿岸域では最も底生生物の種の多様性が高い。カワアイ、ヨシダカワザンショウ等の他、未記載種のマツカワウラカワザンショウが多産する。他では少なくなったユムシ、スジホシムシ、ツバサゴカイが生息する ・松川浦の周辺のヨシ原がヒヌマイトトンボやネアカヨシヤンマの棲息域になっていることから、そのエリアを含むことが必要		3
46		高野池	福島県岩瀬郡鏡石町																								●				＜基準6＞ ・オオハクチョウ、オナガガモの1%基準クリア		1
47	120	裏磐梯湖沼群	福島県耶麻郡猪苗代町・北塩原村			●																									＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湖沼		1

	重要湿地番号	湿地名	都道府県市町村	基準1									基準2				基準3								基準4	基準5	基準6	基準7	基準8	基準9	選定理由	基準2（1種のみ）	
				湿原	河川	湖沼	地下水系	塩性湿地	マングローブ湿地	河口域	干潟	藻場	サンゴ礁	鳥類	両生類	魚類	昆虫類	植物	海藻	海草	マングローブ	両生・爬虫類	魚類	昆虫類	底生生物									
48	121	猪苗代湖	福島県郡山市、会津若松市、耶麻郡猪苗代町			●																					●				＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湖沼 ＜基準6＞ ・コハクチョウの1%基準クリア		2
49	129	涸沼	茨城県東茨城郡茨城町・大洗町、鉾田市														●										●				＜基準2＞ ・ヒヌマイトトンボの生息地 ＜基準6＞ ・スズガモの1%基準クリア ・涸沼ニシンの生息地。		2
50	130	霞ケ浦・北浦	茨城県小美玉市、石岡市、かすみがうら市、土浦市、稲敷郡阿見町・美浦村、稲敷市、行方市、稲敷市、鉾田市、鹿嶋市、潮来市、香取市、神栖市																							●	●				＜基準5＞ ・ガンカモ類の2万羽基準クリア ＜基準6＞ ・ヨシガモの1%基準クリア ・希少淡水魚の多様性が高い。		2
51	131	利根川下流域 （神栖市高浜および周辺水田など）	茨城県神栖市、千葉県香取市、香取郡東庄町																								●				＜基準6＞ ・チュウシャクシギの1%基準クリア ・希少淡水魚の多様性が高い。		1
52	136	渡良瀬遊水地	栃木県小山市、栃木市、下都賀郡野木町、群馬県邑楽郡板倉町、埼玉県加須市、茨城県古河市	●														●													＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湿原 ＜基準3＞ ・本州最大級のヨシを主体とする湿性草地が存在する ・河川の氾濫原を主な生育環境とするトネハナヤスリ、タチスミレ等をはじめとする環境省レッドリスト掲載種約50種を含む700種以上の豊富な植物種が生育する湿地で、本州以南の低湿地の代表例		2
53	138	大田原市の湧水湿地	栃木県大田原市													●															＜基準2＞ ・ミヤコタナゴの生息地	●	1
54	157	九十九里浜 （新川～堀川）	千葉県匝瑳市																								●				＜基準6＞ ・ミユビシギの1%基準クリア		1
55	159	東京湾の干潟・浅瀬 （富津地先沿岸）	千葉県富津市																	●											＜基準3＞ ・中央黒潮エリア内で最大規模の内湾的環境下に存在する海草藻場である。東京湾に残存した海草藻場は生物の移出入を介して生物多様性の維持に貢献している。特に、富津地先沿岸は東京湾最大の海草藻場（アマモ・コアマモ）があり湾全体の生物多様性の維持に重要である可能性が高い。		1
56	159	東京湾の干潟・浅瀬 （葛西海浜公園）	東京都江戸川区																							●	●				＜基準5＞ ・ガンカモ類の2万羽基準クリア ＜基準6＞ ・スズガモ、カンムリカイツブリの1%基準クリア		2
57	159	東京湾の干潟・浅瀬 （三番瀬）	千葉県船橋市、市川市								●															●	●		●		＜基準1＞ ・生物地理区を代表する干潟 ＜基準5＞ ・ガンカモ類の2万羽基準クリア ＜基準6＞ ・ミヤコドリ、ミユビシギ、スズガモの1%基準クリア ＜基準8＞ ・東京湾全体としてトビハゼ生息地の北限。流入河川の河口干潟にはエドハゼ、チクゼンハゼ、マサゴハゼも生息		4

	重要湿地番号	湿地名	都道府県市町村	基準1									基準2				基準3								基準4	基準5	基準6	基準7	基準8	基準9	選定理由	基準2（1種のみ）
				湿原	河川	湖沼	地下水系	塩性湿地	マングローブ湿地	河口域	干潟	藻場	サンゴ礁	鳥類	両生類	魚類	昆虫類	植物	海藻	海草	マングローブ	両生・爬虫類	魚類	昆虫類	底生生物								
58	159	東京湾の干潟・浅瀬 （小櫃川河口域・盤洲干潟）	千葉県木更津市								●													●					●		＜基準1＞ ・生物地理区を代表する干潟 ＜基準3＞ ・東京湾がかつてもっていた強内湾系の干潟環境を今に残す唯一の地域であり、ここを分布の北限とする干潟生物も多い点で、その存在意義は大きい。東京湾内では最も多くの底生生物が生息しており、自然環境も比較的良く保存されている。クシテガニ、ウモレベンケイガニなど十脚類の多様性も高い ＜基準8＞ ・東京湾全体としてトビハゼ生息地の北限。流入河川の河口干潟にはエドハゼ、チクゼンハゼ、マサゴハゼも生息	3
59	159	東京湾の干潟・浅瀬 （富津地先、葛西海浜公園、三番瀬および小櫃川河口域を除く東京湾奥部の河口域）	千葉県君津市、船橋市、市川市、習志野市、木更津市、袖ヶ浦市、富津市、東京都江戸川区、大田区、神奈川県川崎市、横浜市																										●		＜基準8＞ ・東京湾全体としてトビハゼ生息地の北限。流入河川の河口干潟にはエドハゼ、チクゼンハゼ、マサゴハゼも生息 ・マルタの生息地として重要（多摩川河口、江戸川河口等）。	1
60	160	北総地域の谷津田、水路、湧水	千葉県印西市、佐倉市、千葉市																										●		＜基準8＞ ・都市部近郊であるが、淡水魚の種の多様性が高い。タナゴ、ヤリタナゴ、スナヤツメ、ホトケドジョウ、ギバチなどが生息	1
61	163	房総丘陵の谷津田、湧水、河川	千葉県君津市、市原市、夷隅郡大多喜町、勝浦市など												●	●															＜基準2＞ ・トウキョウサンショウウオ、ミヤコタナゴの生息地 ・ミヤコタナゴ、ギンブナ、ホトケドジョウ、ギバチなど希少淡水魚の多様性が高い ・トウキョウサンショウウオをはじめ、両生類の多様性高い	2
62	164	一宮川ならびに夷隅川河口域	千葉県長生郡長生村・一宮町、いすみ市							●																	●				＜基準1＞ ・生物地理区を代表する河口域 ＜基準6＞ ・ミユビシギの1%基準クリア	2
63	168	多摩丘陵地帯の湧水地	東京都青梅市、西多摩郡日の出町、あきる野市、八王子市												●																＜基準2＞ ・トウキョウサンショウウオの生息地 ・トウキョウサンショウウオをはじめ、両生類の多様性高い	● 1
64	171	父島・母島の河川	東京都小笠原村																			●						●	●		＜基準3・7・8＞ ・オガサワラヨシノボリの主要産地。本種は、海洋島の固有淡水魚としては、日本唯一。また、弟島や兄島などの属島では、島全域にわたって各分類群で希少種が多数生息している。世界自然遺産候補地としても注目を集めており、世界的に見ても重要 ・オガサワラカワニナ、オガサワラヌマエビ等の固有種も生息	3
65	172	小笠原群島の砂浜海岸および周辺浅海域	東京都小笠原村										●												●						＜基準1＞ ・生物地理区を代表するサンゴ礁 ＜基準4＞ ・アオウミガメの国内最大の産卵地で、一定規模の産卵地では北太平洋で北限	2
66	178	苗場山周辺湿原 （苗場山湿原、小松原湿原など）	新潟県中魚沼郡津南町、十日町市、南魚沼郡湯沢町、長野県下水内郡栄村	●																											＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湿原	1
67	187	朝日池	新潟県上越市																								●				＜基準6＞ ・マガン、オオヒシクイ、ハクガンの1%基準クリア	1
68	188	鳥屋野潟	新潟県新潟市																								●				＜基準6＞ ・コハクチョウの1%基準クリア	1
69	189	福島潟、信濃川、阿賀野川	新潟県新潟市、阿賀野市																								●				＜基準6＞ ・コハクチョウ、オオヒシクイ、コガモの1%基準クリア ・カワヤツメ、サクラマス、日本海型イトヨなど河川遡上路として重要。ウケクチウグイの生息地	1
70		北新保大池	新潟県村上市																								●				＜基準6＞ ・コハクチョウの1%基準クリア	1
71		諏訪湖	長野県岡谷市、諏訪市、諏訪郡下諏訪町			●																					●			●	＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湖沼 ＜基準6＞ ・カワアイサの1%基準クリア ＜基準9＞ ・メガネサナエの多産地 （確実な多産地は他に琵琶湖のみ）	3

	重要湿地番号	湿地名	都道府県市町村	基準1									基準2				基準3								基準4	基準5	基準6	基準7	基準8	基準9	選定理由	基準2（1種のみ）	
				湿原	河川	湖沼	地下水系	塩性湿地	マングローブ湿地	河口域	干潟	藻場	サンゴ礁	鳥類	両生類	魚類	昆虫類	植物	海藻	海草	マングローブ	両生・爬虫類	魚類	昆虫類	底生生物									
72	203	立山周辺湿原群 （弥陀ヶ原湿原、五色ヶ原、大日平湿原など）	富山県富山市、中新川郡立山町	●																											＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湿原		1
73	205	富山県氷見の河川・ため池群 （宮田地区ため池群、十二町潟周辺の河川と湖沼）	富山県氷見市													●															＜基準2＞ ・イタセンパラの生息地	●	1
74	206	能登半島丘陵地のホクリクサンショウウオ生息地	富山県富山市ほか1市2郡、石川県羽咋市ほか2市3郡												●																＜基準2＞ ・ホクリクサンショウウオの生息地	●	1
75	207	七尾湾	石川県七尾市、鳳珠郡穴水町									●								●											＜基準1＞ ・生物地理区を代表する藻場 ＜基準3＞ ・日本海内湾の大規模海草藻場（日本海では数少ない内湾性環境）。スゲアマモの分布最南端（アマモ・スゲアマモ）。ウミヒルモの分布北限		2
76	208	能登半島西海岸および湖沼群 （河北潟、高松～河北海岸、邑知潟）	石川県かほく市、河北郡津幡町・内灘町、金沢市、羽咋市、羽咋郡宝達志水町																								●				＜基準6＞ ・キアシシギ、ミユビシギの1%基準クリア		1
77		能登半島ため池群	石川県珠洲市、輪島市など															●													＜基準3＞ ・ジュンサイ、フトヒルムシロなど、ため池に生息する水生植物の種の多様性が高い ・水生昆虫の多様性も高い ・特に珠洲市と輪島市のため池が良好な状態		1
78	217	越前市周辺のアベサンショウウオ生息地	福井県越前市												●																＜基準2＞ ・アベサンショウウオの生息地 ・水生昆虫も生息。保護保全活動が盛ん。	●	1
79	219	坂井平野	福井県坂井市、あわら市																								●				＜基準6＞ ・マガンの1%基準クリア		1
80	220	中池見湿地	福井県敦賀市															●													＜基準3＞ ・オオアカウキクサ、サンショウモ等の水田耕作と結びついた多くの希少な水生植物が生育している ・攪乱依存種のみでなく、湧水に生育する湿性植物が混在し、植物の種の多様性が高い ・重要な場所は限定されるが、維持管理次第で改善されると思われる ・オオアカウキクサ、サンショウモなど ・ホトケドジョウ、メダカ北日本集団、アカブナ（ナガブナ）が局在		1
81		嶺南東部のアベサンショウウオ生息地	福井県												●																＜基準2＞ ・アベサンショウウオの生息地	●	1
82	229	木曽三川合流域の河川・水路・ため池群	岐阜県海津市、養老郡養老町、大垣市、瑞穂市、羽島市、各務原市、愛知県津島市、一宮市など													●															＜基準2＞ ・イタセンパラの生息地 ・ウシモツゴ、デメモロコ、ハリヨなど希少淡水魚の多様性が高い	●	1
83	230	長良川・木曽川水系のサツキマス、ネコギギ生息地	岐阜県													●															＜基準2＞ ・ネコギギの生息地	●	1
84	232	伊豆半島南東部（白浜～田牛）沿岸	静岡県下田市																●												＜基準3＞ ・大規模な海中林。コンブ目やホンダワラ科主体の海藻群落。マメタワラ、アラメ、カジメなどが生育 ・黒潮影響域における典型的な温帯性海中林が形成されている		1
85	235	伊豆半島西部沿岸	静岡県賀茂郡松崎町・西伊豆町									●																			＜基準1＞ ・生物地理区を代表する藻場		1
86	241	桶ヶ谷沼・鶴ヶ池	静岡県磐田市														●													●	＜基準2＞ ・ベッコウトンボの生息地 ＜基準9＞ ・ベッコウトンボの本州で唯一の多産地		2
87	242	浜名湖	静岡県浜松市、湖西市			●														●											＜基準1＞ ・生物地理区を代表する湖沼 ＜基準3＞ ・1年生海草藻場と多年生海草藻場が共存する貴重な湿地。本州太平洋岸中部の潟性湖海草藻場の典型		2

	重要湿地番号	湿地名	都道府県市町村	基準1									基準2				基準3							基準4	基準5	基準6	基準7	基準8	基準9	選定理由	基準2（1種のみ）	
				湿原	河川	湖沼	地下水系	塩性湿地	マングローブ湿地	河口域	干潟	藻場	サンゴ礁	鳥類	両生類	魚類	昆虫類	植物	海藻	海草	マングローブ	両生・爬虫類	魚類	昆虫類	底生生物								
88	246	三河湾 （汐川干潟）	愛知県田原市								●													●							＜基準1＞ ・生物地理区を代表する干潟 ＜基準3＞ ・ヒロクチカノコ、イボウミニナ、カワアイ、オカミミガイなどが生息する多様性の高い干潟で、底生生物の密度も高い。モニ1000干潟調査でも出現種数は多い		2
89	246	三河湾 （矢作川河口域、三河鳥羽）	愛知県幡豆郡幡豆町、西尾市、碧南市																							●				＜基準6＞ ・スズガモ、ホシハジロの1%基準クリア		1
90	248	東海丘陵湧水湿地群 （北山湿地、矢並湿地、伊保湿原など）	愛知県、岐阜県、三重県など															●												＜基準3＞ ・第三紀周北要素やゴンドワナ大陸を起源とする植物のほか、東海地方で適応進化した固有種を含む東海丘陵要素植物が生育		1
91	249	伊勢湾 （雲出川、櫛田川、金剛川、愛宕川、祓川河口域）	三重県津市、松阪市、多気郡明和町							●	●			●										●							＜基準1＞ ・生物地理区を代表する河口域、干潟 ＜基準2＞ ・ズグロカモメの0.1%基準クリア ＜基準3＞ ・海浜域の砂浜、前浜干潟から、潟湖干潟、河口干潟とすべての干潟地形がセットになって存在する点で価値が高い。多様な生息環境が保持されており、伊勢湾内では最も多様性が高い。イボウミニナ、オカミミガイなどが見られる他、ヒロクチカノコやワカウラツボの報告もある。超貴重種であるクマノエミオスジガニが記録される点も貴重である		4
92	251	志摩半島南部沿岸 （大王町～南島）	三重県志摩市、度会郡南伊勢町									●							●											＜基準1＞ ・生物地理区を代表する藻場 ＜基準3＞ ・サガラメ、カジメ、オオバノコギリモクなどの海中林。ナガシマモク、ヘラナラサモも生息。最大規模のネジモク群落。マクサも生息。1年生アマモ、ツルモも見られる		2
93		豊津浦～町屋浦	三重県津市																							●				＜基準6＞ ・ミユビシギの1%基準クリア		1
94		二津野ダム湖	奈良県吉野郡十津川村																							●				＜基準6＞ ・オシドリの1%基準クリア		1
95	262	由良川上流域 （芦生）	京都府南丹市																									●		＜基準8＞ ・原生自然が保全され、ヤマメ、アジメドジョウ、アカザ、カジカ、オヤニラミなど渓流性希少魚の多様性が高い ・オオサンショウウオも生息		1
96		京都府亀岡の水田地帯	京都府亀岡市																									●		＜基準8＞ ・アユモドキの生息地。ヤリタナゴ、アブラボテ、カワヒガイなどの希少淡水魚や湿性植物の多様性が高い。棚田の石垣等伝統的里山景観 ・ナゴヤダルマガエルをはじめ両生類の多様性が高い		1
97	264	丹後・但馬地方低山地湧水域のアベサンショウウオ生息地	京都府京丹後市、与謝郡与謝野町、兵庫県豊岡市												●															＜基準2＞ ・アベサンショウウオの生息地	●	1
98		尼崎市臨海部	兵庫県尼崎市																							●				＜基準6＞ ・ホシハジロの1%基準クリア		1
99	277	北播磨地域ため池群	兵庫県加西市、神崎郡福崎町、小野市、加古川市															●												＜基準3＞ ・加西市、小野市、加東市のため池を中心に良好な水生植物群落が成立している ・マルハオモダカ、スブタ、ミズニラなど、絶滅危惧種の宝庫となっており、日本国内内で確認されている水草約200種のうちの40%がこの地域に自生している ・植物以外にも、トンボやゲンゴロウの仲間も豊富 ・現在も使用されているため池もが多数あり、人の営みと生きものの関わりが、多様な生物とともに残っている		1
100	282	円山川下流域および周辺水田	兵庫県豊岡市											●				●					●					●		＜基準2＞ ・コウノトリの生息地 ＜基準3・8＞ ・河川の氾濫原に依存したミズアオイ等の水草相が良好な状態で残っており、円山川中洲のひのそ島や田結地区などには重要な植物が残っている（ヒメシロアサザ、オオアカウキクサなど）。 ・ヒヌマイトトンボの生息地もある ・異なる系統（サケ、イトヨ、メダカ南北集団等）からなる多様な魚類相		4

	重要湿地番号	湿地名	都道府県市町村	基準1									基準2				基準3							基準4	基準5	基準6	基準7	基準8	基準9	選定理由	基準2（1種のみ）	
				湿原	河川	湖沼	地下水系	塩性湿地	マングローブ湿地	河口域	干潟	藻場	サンゴ礁	鳥類	両生類	魚類	昆虫類	植物	海藻	海草	マングローブ	両生・爬虫類	魚類	昆虫類	底生生物								
101	286	有田川	和歌山県有田市																						●						＜基準3＞ ・これまでの調査で底生生物が262種、魚類56種が確認されている多様性の高い河口干潟。コゲツノブエやタケノコカワニナが生息する他、干潟に棲むハゼ類も多い		1
102	290	白浜～田辺湾	和歌山県田辺市、西牟婁郡白浜町																						●						＜基準3＞ ・底生生物の出現数が多く、多様性が高い。コゲツノブエ、ハクセンシオマネキなどのほか、潮間帯下部にはハボウキガイが見られる		1
103		日野川	鳥取県西伯郡伯耆町																								●				＜基準6＞ ・オシドリの1%基準クリア		1
104	303	隠岐島（島後）の渓流域	島根県隠岐郡隠岐の島町												●															●	＜基準2＞ ・オキサンショウウオの生息地 ＜基準9＞ ・オキサンショウウオ（日本固有種）の唯一の生息地		2
105	304	隠岐島沿岸	島根県隠岐郡隠岐の島町・海士町・知夫村・西ノ島町																●												＜基準3＞ ・ガラモ場、海中林を中心とした大規模な藻場で種多様性が高く、藻類の希少種も多い。クロキヅタ（国の天然記念物）やホソエガサ（絶滅危惧種）の生育地。地域住民の海への関心も高い ・日本海側の温帯性海藻群落として規模も大きく，種多様性が高い		1
106		能義平野	島根県安来市																								●				＜基準6＞ ・コハクチョウの1%基準クリア		1
107	307	岡山平野の河川および周辺水田	岡山県など													●													●		＜基準2＞ ・スイゲンゼニタナゴの生息地 ＜基準8＞ ・アユモドキ、スイゲンゼニタナゴ等の希少淡水魚生息地 ・ナゴヤダルマガエル、カスミサンショウウオも生息		2
108		児島湖・阿部池	岡山県岡山市南区、玉野市																							●	●				＜基準5＞ ・ガンカモ類の2万羽基準クリア ＜基準6＞ ・キンクロハジロ、スズガモ、ホシハジロの1%基準クリア		2
109	311	味野湾、玉野湾 （倉敷市児島港沖）	岡山県倉敷市、玉野市									●																			＜基準1＞ ・生物地理区を代表する藻場		1
110	313	安芸湾三津口	広島県呉市																	●											＜基準3＞ ・瀬戸内海でも非常に自然度が高く残存した海草藻場。特に生野島月ヶ浦の海草藻場は小さいながらも健全性が高い		1
111	314	世羅台地の湧水湿地・ため池群	広島県世羅郡世羅町、東広島市															●													＜基準3＞ ・世羅西町を中心に水辺や水中に絶滅危惧種を含む多様な植生が成立している（オグラコウホネ、スブタ、ヒメタヌキモなど（満鮮要素）など） ・植物地理的にも隔離分布する特異な植物相が見られる		1
112	318	宮島 （厳島）	広島県廿日市市														●													●	＜基準2＞ ・ミヤジマトンボの生息地 ＜基準9＞ ・ミヤジマトンボの日本唯一の生息地		2
113	321	秋穂湾～山口湾 （椹野川河口域を含む）	山口県山口市								●						●								●						＜基準1＞ ・生物地理区を代表する干潟 ＜基準2＞ ・ヒヌマイトトンボ、ベッコウトンボの生息地 ＜基準3＞ ・有明海に次いで、潮の干満差が大きい周防灘一帯の沿岸域で、有明海と同様の多様な強内湾系生物を多産する貴重な地域である。しかも低潮線付近には広大な海草藻場を擁し、塩性湿地も豊富であり、瀬戸内海の原風景を残す点で存在価値が高い。瀬戸内海を含め近隣海域の中では圧倒的に底生生物の生息種数が多い。シマヘナタリ、オカミミガイ類、センベイアワモチ等の他、ミドリシャミセンガイ、ヒガシナメクジウオも見られる		3
114	323	厚東川・厚狭川の河口域	山口県宇部市、山陽小野田市							●							●														＜基準1＞ ・生物地理区を代表する河口域 ＜基準2＞ ・ヒヌマイトトンボ、ベッコウトンボの生息地		2

	重要湿地番号	湿地名	都道府県市町村	基準1									基準2				基準3							基準4	基準5	基準6	基準7	基準8	基準9	選定理由	基準2（1種のみ）	
				湿原	河川	湖沼	地下水系	塩性湿地	マングローブ湿地	河口域	干潟	藻場	サンゴ礁	鳥類	両生類	魚類	昆虫類	植物	海藻	海草	マングローブ	両生・爬虫類	魚類	昆虫類	底生生物								
115	326	油谷湾	山口県長門市、下関市								●																			＜基準1＞ ・生物地理区を代表する干潟		1
116		八代	山口県周南市											●																＜基準2＞ ・ナベヅルの生息地	●	1
117		小野湖	山口県宇部市																							●				＜基準6＞ ・オシドリの1%基準クリア		1
118	329	吉野川河口域	徳島県徳島市、板野郡藍住町・上板町、名西郡石井町							●				●										●	●				●	＜基準1＞ ・生物地理区を代表する河口域 ＜基準2＞ ・ズグロカモメの0.1%基準クリア ＜基準3＞ ・有明海が備え持つ強内湾系の大型干潟の特徴を、河口干潟の形態でもっており、そのため、シオマネキの生息数は、有明海以外では随一を誇る。砂質から泥質まで多様な環境が河口域に残されており、ヒロクチカノコ、イボウミニナ、ヨシダカワザンショウ、クリイロコミミガイ、シオマネキ、ハクセンシオマネキ、フタハピンノ等が生息する。種数も多い ・ハンミョウ類の重要な生息地である ＜基準8＞ ・河口域には、タビラクチやアオギスが生息		5
119	343	加茂川河口域	愛媛県西条市											●																＜基準2＞ ・ズグロカモメの0.1%基準クリア	●	1
120	348	宇和海島嶼部周辺沿岸	愛媛県西宇和郡伊方町、八幡浜市																●											＜基準3＞ ・瀬戸内海側と太平洋側の海洋変動を受けやすい。多様なホンダワラ類が混成している。クロメ場、ガラモ場などと混在し、地先の生物多様性が高い		1
121		鹿野川ダム湖	愛媛県大洲市																							●				＜基準6＞ ・オシドリの1%基準クリア		1
122	349	松山地区のオオイタサンショウウオの生息地	高知県土佐清水市												●															＜基準2＞ ・オオイタサンショウウオが、四国で唯一生息している	●	1
123	350	四万十川下流域	高知県四万十市							●				●															●	＜基準1＞ ・生物地理区を代表する河口域 ＜基準2＞ ・ナベヅル、マナヅルの生息地 ＜基準8＞ ・アカメの生息地		3
124		杉田ダム湖	高知県香美市																							●				＜基準6＞ ・オシドリの1%基準クリア		1
125	359	曽根干潟	福岡県北九州市											●												●				＜基準2＞ ・ズグロカモメの0.1%基準クリア ＜基準6＞ ・スズガモ、ズグロカモメの1%基準クリア		2
126	360	筑前大島・地ノ島周辺沿岸	福岡県宗像市									●							●											＜基準1＞ ・生物地理区を代表する藻場 ＜基準3＞ ・玄界灘には各地で大規模な藻場が見られるが、最大規模の海中林		2
127	363	博多湾東部（和白干潟など）	福岡県福岡市								●			●										●		●				＜基準1＞ ・生物地理区を代表する干潟 ＜基準2＞ ・クロツラヘラサギ、ズグロカモメ、ホウロクシギの0.1%基準クリア ＜基準3＞ ・日本海に面した干潟では最も底生生物の種の多様性が高い。出現種数はそれほど多くはないが、ナラビオカミミガイ、キヌカツギハマシイノミガイが生息する ＜基準6＞ ・クロツラヘラサギの1%基準クリア		4

	重要湿地番号	湿地名	都道府県市町村	基準1									基準2				基準3								基準4	基準5	基準6	基準7	基準8	基準9	選定理由	基準2（1種のみ）	
				湿原	河川	湖沼	地下水系	塩性湿地	マングローブ湿地	河口域	干潟	藻場	サンゴ礁	鳥類	両生類	魚類	昆虫類	植物	海藻	海草	マングローブ	両生・爬虫類	魚類	昆虫類	底生生物									
128	363	今津干潟	福岡県福岡市								●			●											●			●				＜基準1＞ ・生物地理区を代表する干潟 ＜基準2＞ ・クロツラヘラサギ、ズグロカモメ、ホウロクシギの0.1%基準クリア ＜基準3＞ ・日本海に面した干潟では底生生物の種の多様性が高い。 ＜基準6＞ ・クロツラヘラサギの1%基準クリア		4
129		津屋崎干潟	福岡県福津市											●																		＜基準2＞ ・クロツラヘラサギの0.1%基準クリア	●	1
130		雷山川河口域	福岡県糸島市											●																		＜基準2＞ ・クロツラヘラサギの0.1%基準クリア	●	1
131	365	有明海 （筑後川、沖端川河口域）	福岡県大川市、柳川市、佐賀県佐賀市							●	●					●							●		●				●	●		＜基準1＞ ・生物地理区を代表する河口域、干潟 ＜基準2＞ ・アリアケヒメシラウオの生息地 ＜基準3･7･8＞ ・エツ、アリアケシラウオ、ムツゴロウ、タビラクチ、ハゼクチ、ワラスボ、ヤマノカミなど大陸性魚類の生息地 ・多様な底生生物が生息し、大陸遺存種も多く見られる。ミドリシャミセンガイ、オカミミガイ類、アリアケガニ、アリアケカワゴカイ等が生息する ・大陸遺存型強内湾性底生生物の豊富さは他に類をみない		7
132	365	有明海 （矢部川、塩田川、田古里川河口域、諫早湾、平和搦）	福岡県柳川市、みやま市、佐賀県佐賀市、杵島郡白石町、鹿島市、藤津郡太良町、長崎県雲仙市、諫早市							●	●					●							●						●	●		＜基準1＞ ・生物地理区を代表する河口域、干潟 ＜基準2＞ ・アリアケヒメシラウオの生息地 ＜基準3･7･8＞ ・エツ、アリアケシラウオ、ムツゴロウ、タビラクチ、ハゼクチ、ワラスボ、ヤマノカミなど大陸性魚類の生息地 ・大陸遺存型強内湾性底生生物の豊富さは他に類をみない		6
133	365	有明海 （六角川河口域）	佐賀県佐賀市、小城市、杵島郡白石町							●	●					●							●		●				●	●		＜基準1＞ ・生物地理区を代表する河口域、干潟 ＜基準2＞ ・アリアケヒメシラウオの生息地 ＜基準3･7･8＞ ・エツ、アリアケシラウオ、ムツゴロウ、タビラクチ、ハゼクチ、ワラスボ、ヤマノカミなど大陸性魚類の生息地 ・有明海最奥部に位置する。アリアケガニ、ムツゴロウ、ヒロクチカノコ、オカミミガイ類、ウミマイマイ、クロヘナタリ、シマヘナタリ等が生息し、種の多様性が高い ・大陸遺存型強内湾性底生生物の豊富さは他に類をみない		7
134	365	有明海 （早津江川河口域）	福岡県大川市、佐賀県佐賀市							●	●			●		●							●						●	●		＜基準1＞ ・生物地理区を代表する河口域、干潟 ＜基準2＞ ・クロツラヘラサギ、ズグロカモメの0.1%基準クリア ・アリアケヒメシラウオの生息地 ＜基準3･7･8＞ ・エツ、アリアケシラウオ、ムツゴロウ、タビラクチ、ハゼクチ、ワラスボ、ヤマノカミなど大陸性魚類の生息地 ・大陸遺存型強内湾性底生生物の豊富さは他に類をみない		7

	重要湿地番号	湿地名	都道府県市町村	基準1										基準2				基準3								基準4	基準5	基準6	基準7	基準8	基準9	選定理由	基準2（1種のみ）	
				湿原	河川	湖沼	地下水系	塩性湿地	マングローブ湿地	河口域	干潟	藻場	サンゴ礁	鳥類	両生類	魚類	昆虫類	植物	海藻	海草	マングローブ	両生・爬虫類	魚類	昆虫類	底生生物									
135	365	有明海 （東与賀海岸（大授搦）、鹿島新籠海岸、荒尾海岸）	佐賀県佐賀市、鹿島市、熊本県荒尾市							●	●			●		●							●					●	●	●		＜基準1＞ ・生物地理区を代表する河口域、干潟 ＜基準2＞ ・クロツラヘラサギ、ズグロカモメ、ヘラシギ、カラフトアオアシシギの0.1%基準クリア ・アリアケヒメシラウオの生息地 ＜基準6＞ ・チュウシャクシギ、ズグロカモメの1%基準クリア ＜基準3･7･8＞ ・エツ、アリアケシラウオ、ムツゴロウ、タビラクチ、ハゼクチ、ワラスボ、ヤマノカミなど大陸性魚類の生息地 ・大陸遺存型強内湾性底生生物の豊富さは他に類をみない		8
136	370	伊万里干拓地	佐賀県伊万里市											●																		＜基準2＞ ・ナベヅル、マナヅルの生息地		1
137	375	壱岐島の河川およびため池群	長崎県壱岐市													●																＜基準2＞ ・カゼトゲタナゴの生息地 ・カゼトゲタナゴ・アブラボテなどの希少淡水魚の多様性が高い	●	1
138	378	対馬 （浅茅湾および綱浦）	長崎県対馬市														●							●								＜基準2＞ ・ヒヌマイトトンボの生息地 ＜基準3＞ ・入り江が複雑に発達しており、特異な景観を有している。絶滅危惧I類の沿岸性アメンボの一種であるシオアメンボや絶滅危惧Ⅱ類のシロウミアメンボの安定した生息地。オス・メス同型のヒヌマイトトンボも生息		2
139	379	対馬 （田ノ浜）	長崎県対馬市																			●		●								＜基準3＞ ・地形が急峻で平地の少ない対馬において低湿地の生物相を残す場として重要で、エサキアメンボ等の水生昆虫やツシマアカガエル、チョウセンヤマアカガエル等が生息し、ツシマヤマネコの重要な餌場にもなっている		2
140	386	菊池川・白川・緑川河口域	熊本県熊本市、玉名市、宇土市											●		●												●				＜基準2＞ ・クロツラヘラサギの0.1%基準クリア ・アリアケヒメシラウオの生息地 ＜基準6＞ ・クロツラヘラサギ、ズグロカモメの1%基準クリア		3
141	387	不知火干潟および周辺 （大野川、砂川、氷川、鏡川河口域）	熊本県宇城市、八代郡氷川町、八代市											●											●			●				＜基準2＞ ・クロツラヘラサギ、ズグロカモメの0.1%基準クリア ＜基準3＞ ・大野川の河口にはヨシ原も存在し、ヘナタリ類、ワカウラツボ、ウミマイマイ、ヤベカワモチ、シオマネキが生息する他、有明海特産種も出現し、多様性が高い ＜基準6＞ ・クロツラヘラサギ、ズグロカモメの1%基準クリア		3
142	388	球磨川河口域	熊本県八代市											●																		＜基準2＞ ・クロツラヘラサギ、ズグロカモメの0.1%基準クリア		1
143	389	永浦干潟	熊本県上天草市																						●							＜基準3＞ ・多様な環境が存在し、近隣地域の中では出現種数が多い。ハクセンシオマネキの日本最大の生息地		1
144	390	天草灘通詞島周辺	熊本県天草市									●																				＜基準1＞ ・生物地理区を代表する藻場		1
145	392	天草牛深沿岸 （片島、大島、桑島）	熊本県天草市										●																			＜基準1＞ ・生物地理区を代表するサンゴ礁		1
146		羊角湾	熊本県天草市																						●							＜基準3＞ ・羊角湾埋立計画が中止になったため、自然度が高い状態で保持されており、オカミミガイ類、ヘナタリ類、イボウミニナ等、出現種数も多い		1
147	393	九州中央山地源流域のベッコウサンショウウオ生息地	熊本県、宮崎県、鹿児島県												●																	＜基準2＞ ・ベッコウサンショウウオの生息地	●	1

	重要湿地番号	湿地名	都道府県市町村	基準1									基準2				基準3								基準4	基準5	基準6	基準7	基準8	基準9	選定理由	基準2（1種のみ）	
				湿原	河川	湖沼	地下水系	塩性湿地	マングローブ湿地	河口域	干潟	藻場	サンゴ礁	鳥類	両生類	魚類	昆虫類	植物	海藻	海草	マングローブ	両生・爬虫類	魚類	昆虫類	底生生物									
148	395	野依新池	大分県中津市														●													●	＜基準2＞ ・ベッコウトンボの生息地 ＜基準9＞ ・ベッコウトンボの多産地 （確実な多産地は他に桶ヶ谷沼・鶴ヶ池と藺牟田池のみ）		2
149	396	中津干潟・宇佐海岸	大分県中津市、宇佐市、豊後高田市								●			●										●			●				＜基準2＞ ・干潟 ＜基準2＞ ・ズグロカモメの0.1%基準クリア ＜基準3＞ ・シマヘナタリ、クロヘナタリ、ハクセンシオマネキ、オカミミガイ類等が生息する、種の多様性の高い干潟。固有種の多さでも無視できない。塩性湿地から海草藻場まで連続性がある ＜基準6＞ ・ズグロカモメの1%基準クリア		4
150	404	家田湿原・川坂湿原	宮崎県延岡市															●													＜基準3＞ ・現在希少になりつつあるオヒルムシロ、ヒメコウホネ、ヌマゼリ等の北方系の水生植物の南限で、湧水環境が豊富な植物相を支えている。また、水田雑草も豊富		1
151	411	宮崎市湧水地帯のオオイタサンショウウオ生息地	宮崎県宮崎市												●																＜基準2＞ ・オオイタサンショウウオの生息地	●	1
152		大淀川下流域	宮崎県宮崎市																										●		＜基準8＞ ・四万十川と並んで重要なアカメの生息地		1
153		一ツ瀬川河口域	宮崎県宮崎市、児湯郡新富町											●																	＜基準2＞ ・クロツラヘラサギの0.1%基準クリア	●	1
154	422	出水干拓地	鹿児島県出水市											●													●				＜基準2＞ ・ナベヅル、マナヅルの1%基準クリア ＜基準6＞ ・ナベヅル、マナヅル、ヒドリガモの1%基準クリア		2
155	425	鹿児島湾 （桜島漁港、重富海岸、桜島漁港、浜町、鴨池港、生見）	鹿児島県姶良市、霧島市、鹿児島市																●												＜基準3＞ ・南限の海草藻場。1年生で変動が激しいため、広域での指定が必要		1
156	425	鹿児島湾 （天降川河口域）	鹿児島県霧島市											●																	＜基準2＞ ・クロツラヘラサギの0.1%基準クリア	●	1
157		別府川	鹿児島県薩摩川内市、姶良市											●																	＜基準2＞ ・クロツラヘラサギの0.1%基準クリア	●	1
158	428	万之瀬川河口域・吹上浜海岸	鹿児島県南さつま市、日置市											●													●				＜基準2＞ ・クロツラヘラサギの0.1%基準クリア ＜基準6＞ ・クロツラヘラサギの1%基準クリア		2
159	431	種子島のマングローブ林 （湊川・大浦川）	鹿児島県西之表市、熊毛郡中種子町・南種子町						●											●											＜基準1＞ ・生物地理区を代表するマングローブ湿地 ＜基準3＞ ・メヒルギ林が発達し生態系として貴重、自然分布北限の可能性有 ・ラグーン内に樹高1mにも達しないメヒルギ群落が広く生育、このような群生は日本で唯一 ・湊川は以前より状況が悪くなっているが重要。大浦のメヒルギの低木群は貴重。世界的に見ても稀		2
160	438	甑島周辺沿岸 （海鼠池、貝池）	鹿児島県薩摩川内市															●													＜基準3＞ ・海鼠池は陸封された海水湖として希少性が高い。マメタワラ類似種が生育するとされる ・陸封湖に生育する天然海藻群落として希少性が高い		1
161	439	奄美大島 （南部の渓流域）	鹿児島県奄美市、大島郡大和村・宇検村・瀬戸内町												●																＜基準2＞ ・イシカワガエル、オットンガエル、イボイモリ、アマミハナサキガエルなど多くの固有種の生息地		1

	重要湿地番号	湿地名	都道府県市町村	基準1									基準2				基準3								基準4	基準5	基準6	基準7	基準8	基準9	選定理由	基準2（1種のみ）
				湿原	河川	湖沼	地下水系	塩性湿地	マングローブ湿地	河口域	干潟	藻場	サンゴ礁	鳥類	両生類	魚類	昆虫類	植物	海藻	海草	マングローブ	両生・爬虫類	魚類	昆虫類	底生生物								
162	440	奄美大島 （役勝川、住用川など）	鹿児島県奄美市、大島郡大和村・宇検村・瀬戸内町																		●		●	●				●	●		＜基準3･7･8＞ ・マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い。発達したメヒルギ林と良好なるマングローブ生態系 ・キバラヨシノボリ、リュウキュウアユの生息地。河口域にはマングローブ林が広がり、希少ハゼ科魚類も生息 ・エグリタマミズムシ等の固有の水棲昆虫が多いだけでなく、アマミハナサキガエル、イシカワガエル等の固有な両生は虫類も多種が生息している。中流域・下流域まで含めて重要 ・現在、メヒルギ林は沖縄県の分布地より良好な林分を形成していて特に貴重。 ・本地域に生息するリュウキュウアユの存在は極めて貴重	5
163		奄美大島 （川内川・城内海）	鹿児島県奄美市、大島郡大和村																		●		●	●				●	●		＜基準3･7･8＞ ・マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。住用・役勝マングローブ林と一緒に含めての多様性が高い生態系（城内海） ・キバラヨシノボリ、リュウキュウアユの生息地。河口域にはマングローブ林が広がり、希少ハゼ科魚類も生息 ・エグリタマミズムシ等の固有の水棲昆虫が多いだけでなく、アマミハナサキガエル、イシカワガエル等の固有な両生は虫類も多種が生息している。中流域・下流域まで含めて重要	5
164		奄美大島 （河内川）	鹿児島県奄美市、大島郡宇検村																				●	●				●	●		＜基準3･7･8＞ ・キバラヨシノボリ、リュウキュウアユの生息地。河口域にはマングローブ林が広がり、希少ハゼ科魚類も生息 ・エグリタマミズムシ等の固有の水棲昆虫が多いだけでなく、アマミハナサキガエル、イシカワガエル等の固有な両生は虫類も多種が生息している。中流域・下流域まで含めて重要	4
165		奄美大島 （上記以外の河川） （詳細地は未確認）	鹿児島県大島郡龍郷町、奄美市、大島郡大和村・宇検村・瀬戸内町																					●							＜基準3＞ ・エグリタマミズムシ等の固有の水棲昆虫が多いだけでなく、アマミハナサキガエル、イシカワガエル等の固有な両生は虫類も多種が生息している。中流域・下流域まで含めて重要	1
166	444	徳之島山地水域	鹿児島県大島郡徳之島町・天城町・伊仙町												●																＜基準2＞ ・イボイモリ、アマミハナサキガエル等の日本固有種の重要な生息地	1
167	448	ヤンバル河川群 （数久田川、源河川、汀間川など）	沖縄県国頭郡国頭村・大宜味村・東村、名護市												●		●					●	●					●	●		＜基準2＞ ・イシカワガエル、ホルストガエル、ナミエガエル、イボイモリ、ハナサキガエルの生息地 ・オキナワミナミヤンマの生息地 ＜基準3･7･8＞ ・ナミエガエル、ハナサキガエル、イシカワガエル、ホルストガエル等の日本固有種を含む両生は虫類にとって重要な生息地 ・キバラヨシノボリ、アオバラヨシノボリ、アヤヨシノボリ、ヒラヨシノボリなどヨシノボリ類固有種が生息。汀間川、大浦川河口のマングローブ林には、多様な魚類が生息	6
168	451	慶佐次マングローブ	沖縄県国頭郡東村																		●										＜基準3＞ ・メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い	1
169	453	大浦川	沖縄県名護市																		●		●					●	●		＜基準3･7･8＞ ・キバラヨシノボリ、アオバラヨシノボリ、アヤヨシノボリ、ヒラヨシノボリなどヨシノボリ類固有種が生息。汀間川、大浦川河口のマングローブ林には、多様な魚類が生息 ・メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギの生息地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い	4
170	454	羽地内海（屋我地など）	沖縄県名護市、国頭郡今帰仁村								●													●							＜基準1＞ ・生物地理区を代表する干潟 ＜基準3＞ ・大規模な内湾で、底生生物相も多様で豊富である。特に二枚貝類は種数、個体数ともに多く、腹足類には未記載種も多く出現する ・メヒルギ、オヒルギ、（ヒルギダマシ）のマングローブ樹種の生育地	2

	重要湿地番号	湿地名	都道府県市町村	基準1									基準2				基準3							基準4	基準5	基準6	基準7	基準8	基準9	選定理由	基準2（1種のみ）	
				湿原	河川	湖沼	地下水系	塩性湿地	マングローブ湿地	河口域	干潟	藻場	サンゴ礁	鳥類	両生類	魚類	昆虫類	植物	海藻	海草	マングローブ	両生・爬虫類	魚類	昆虫類	底生生物								
171	459	中城湾北部 （泡瀬～川田～勝連町南原～北中城村～中城村）	沖縄県うるま市、沖縄市、中頭郡北中城村								●			●					●					●			●				＜基準1＞ ・生物地理区を代表する干潟 ＜基準2＞ ・クロツラヘラサギの0.1%基準クリア ＜基準3＞ ・泡瀬干潟にはクビレミドロ(絶滅危惧種）が生育。イソスギナも生育 ・泡瀬干潟は貝類の種数や現存量が大きく、多くの希少な種類が見られる ・本地域に生息するトビハゼ、トカゲハゼ、シオマネキは極めて貴重 ＜基準6＞ ・ムナグロの1%基準クリア		5
172	459	中城湾南部 （与那原海岸～佐敷）	沖縄県中頭郡中城村、島尻郡与那原町、南城市								●								●					●							＜基準1＞ ・生物地理区を代表する干潟 ＜基準3＞ ・泡瀬干潟にはクビレミドロ(絶滅危惧種）が生育。イソスギナも生育 ・泡瀬干潟は貝類の種数や現存量が大きく、多くの希少な種類が見られる ・本地域に生息するトビハゼ、トカゲハゼ、シオマネキは極めて貴重		3
173	461	具志干潟～大嶺岬および周辺沿岸	沖縄県那覇市											●																	＜基準2＞ ・クロツラヘラサギの0.1%基準クリア	●	1
174	463	与根干潟・豊崎干潟	沖縄県豊見城市											●																	＜基準2＞ ・クロツラヘラサギの0.1%基準クリア	●	1
175	464	瀬底島の湿地	沖縄県国頭郡本部町												●																＜基準2＞ ・イボイモリの生息地	●	1
176	469	渡嘉敷島の山地水域	沖縄県島尻郡渡嘉敷村												●																＜基準2＞ ・ホルストガエル、イボイモリの生息地		1
177	472	八重干瀬	沖縄県宮古島市										●																		＜基準1＞ ・生物地理区を代表するサンゴ礁		1
178	479	与那覇湾およびその周辺	沖縄県宮古島市									●														●					＜基準1＞ ・生物地理区を代表する藻場 ＜基準6＞ ・メダイチドリの1%基準クリア		2
179	484	石垣島 （川平湾、米原地先沿岸）	沖縄県石垣市								●								●					●							＜基準1＞ ・生物地理区を代表する干潟 ＜基準3＞ ・ホンダワラ属、シマテングサ、カタメンキリンサイ、リュウキュウオゴノリ（絶滅危惧種）の生育地 ・サンゴ礁から岩礁海岸、砂浜、砂泥底、海草藻場、マングローブと多様な環境が揃っている、生態系の多様性の高い地域。ナタマメケボリやヒノマルズキンなど埋在生物と共生する底生生物も確認された		3
180	487	石垣島 （於茂登岳の渓流および湿地）	沖縄県石垣市																			●									＜基準3＞ ・コガタハナサキガエル、オオハナサキガエル等の日本固有種を含む両生は虫類にとって重要な生息地		1

	重要湿地番号	湿地名	都道府県市町村	基準1									基準2				基準3							基準4	基準5	基準6	基準7	基準8	基準9	選定理由	基準2（1種のみ）	
				湿原	河川	湖沼	地下水系	塩性湿地	マングローブ湿地	河口域	干潟	藻場	サンゴ礁	鳥類	両生類	魚類	昆虫類	植物	海藻	海草	マングローブ	両生・爬虫類	魚類	昆虫類	底生生物								
181	487	石垣島 （名蔵湾）	沖縄県石垣市									●							●											＜基準1＞ ・生物地理区を代表する藻場 ＜基準3＞ ・マングローブ、干潟、海草藻場、海藻藻場、サンゴ礁リーフの全てが見られ、かつ連続する「熱帯性湿地」として日本で唯一。この規模として最も高緯度。海藻群落は熱帯性海藻で構成されており、沖縄本島とも異なる。リュウキュウオゴノリ（絶滅危惧種）も生育。海草のウミショウブも生育 ・メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、マヤブシキ、ミミモチシダのマングローブ樹種の貴重な生育地		2
182	488	石垣島 （宮良湾）	沖縄県石垣市						●		●													●						＜基準1＞ ・生物地理区を代表するマングローブ湿地、干潟 ＜基準3＞ ・前浜干潟の他、河口部には天然記念物のマングローブ林が存在する。オキナワアナジャコ、キバアマガイ、オカミミガイ類など多種類の底生生物が生息する		3
183	489	石垣島 （白保海岸とその沿岸）	沖縄県石垣市											●																＜基準2＞ ・クロツラヘラサギの0.1%基準クリア	●	1
184	490	石西礁湖 （鳩間島沿岸を含む）	沖縄県八重山郡竹富町										●												●					＜基準1＞ ・生物地理区を代表するサンゴ礁 ＜基準4＞ ・アオウミガメ、アカウミガメ、タイマイの3種の産卵地。西部太平洋におけるアオウミガメ、タイマイの幼体の主要な索餌・生育海域		2
185	491	西表島 （山地水域および平地部天然陸水域）	沖縄県八重山郡竹富町												●							●	●				●	●		＜基準2＞ ・コガタハナサキガエル、ヤエヤマハラブチガエルの生息地 ＜基準3･7･8＞ ・西表島の河川からは400種をこえる魚類が確認されており、種多様性がきわめて高い。また、絶滅のおそれのある汽水・淡水魚は51種が分布し、魚類相の希少性も高い。なかでも浦内川は魚種数、絶滅危惧種数ともに最多 ・八重山諸島固有の水棲昆虫類が豊富に生息している。渓流性および湿地性の昆虫が多様で、質・量とも豊富である ・両生類も八重山固有種が豊富		5
186	493	西表島 （仲間川）	沖縄県八重山郡竹富町		●				●	●										●		●	●				●	●		＜基準1＞ ・生物地理区を代表する自然度の高い河川、マングローブ湿地、河口域 ＜基準3･7･8＞ ・メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキ、マヤプシキの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。マングローブ林生態系の多様性が高い ・西表島の河川からは400種をこえる魚類が確認されており、種多様性がきわめて高い。また、絶滅のおそれのある汽水・淡水魚は51種が分布し、魚類相の希少性も高い。なかでも浦内川は魚種数、絶滅危惧種数ともに最多 ・八重山諸島固有の水棲昆虫類が豊富に生息している。渓流性および湿地性の昆虫が多様で、質・量とも豊富である ・日本で最大分布地、マングローブ樹種数も多く貴重な生育地		8
187	494	西表島 （古見湾）	沖縄県八重山郡竹富町						●		●													●						＜基準1＞ ・生物地理区を代表するマングローブ湿地、干潟 ＜基準3＞ ・マングローブ湿地と河口から前浜に至る広大な干潟では、特に、シオマネキ類やオサガニ類の多様性が高い ・メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギモドキ、ヒルギダマシ、マヤブシキの生育地。マングローブ林の発達は良好で、生態系の多様性が大きい		3
188	497	西表島 （船浦湾）	沖縄県八重山郡竹富町						●		●													●						＜基準1＞ ・生物地理区を代表するマングローブ湿地、干潟 ＜基準3＞ ・マングローブ林、砂質干潟、海草藻場がいずれも広大で、それぞれに特有の底生生物が出現する、種及び生態系の多様性の高い地域 ・メヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギモドキ、ヒルギダマシ、ニッパヤシの生育地。林分は良好で、生態系の多様性が大きい		3

	重要湿地番号	湿地名	都道府県市町村	基準1									基準2				基準3								基準4	基準5	基準6	基準7	基準8	基準9	選定理由	基準2（1種のみ）
				湿原	河川	湖沼	地下水系	塩性湿地	マングローブ湿地	河口域	干潟	藻場	サンゴ礁	鳥類	両生類	魚類	昆虫類	植物	海藻	海草	マングローブ	両生・爬虫類	魚類	昆虫類	底生生物								
189	498	西表島 （浦内川）	沖縄県八重山郡竹富町		●				●	●	●									●		●	●	●				●	●		＜基準1＞ ・生物地理区を代表する自然度の高い河川、マングローブ湿地、河口域、干潟 ＜基準3・7・8＞ ・マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。マングローブ林（生態系）の代表的・固有的な分布地。干潟、マングローブ林、湿地、海岸から陸上生態系へと多様性が高い。更に河川生態系、奥地森林生態系と多様性が特に高い ・西表島の河川からは400種をこえる魚類が確認されており、種多様性がきわめて高い。また、絶滅のおそれのある汽水・淡水魚は51種が分布し、魚類相の希少性も高い。なかでも浦内川は魚種数、絶滅危惧種数ともに最多 ・広大な河口域にマングローブ林が存在し、魚類の種多様性が高い。ﾄｳﾄﾞｳﾏﾘハマグリ、キヌメハマシイノミ、コハクオカミミガイ等が産する ・八重山諸島固有の水棲昆虫類が豊富に生息している。渓流性および湿地性の昆虫が多様で、質・量とも豊富である ・マングローブ林の後背湿地林、サキシマスオウノキ、サガリバナなど貴重な分布地	10
190		西表島 （大見謝川）	沖縄県八重山郡竹富町																			●	●					●	●		＜基準3・7・8＞ ・西表島の河川からは400種をこえる魚類が確認されており、種多様性がきわめて高い。また、絶滅のおそれのある汽水・淡水魚は51種が分布し、魚類相の希少性も高い。なかでも浦内川は魚種数、絶滅危惧種数ともに最多 ・八重山諸島固有の水棲昆虫類が豊富に生息している。渓流性および湿地性の昆虫が多様で、質・量とも豊富である	4
191		西表島 （上記以外の河川） （詳細地は未確認）	沖縄県八重山郡竹富町																				●					●	●		＜基準3＞ ・八重山諸島固有の水棲昆虫類が豊富に生息している。渓流性および湿地性の昆虫が多様で、質・量とも豊富である ＜基準7・8＞ ・西表島の河川からは400種をこえる魚類が確認されており、種多様性がきわめて高い。また、絶滅のおそれのある汽水・淡水魚は51種が分布し、魚類相の希少性も高い。なかでも浦内川は魚種数、絶滅危惧種数ともに最多	3
192	499	西表島 （崎山湾、網取湾など）	沖縄県八重山郡竹富町																●						●						＜基準3＞ ・自然度の非常に高い熱帯性海草藻場。ウミショウブの純群落 ＜基準4＞ ・南西諸島で最も高密度にアオウミガメが産卵する砂浜を有し、その後背地の自然も健全な状態に保たれている。陸域から海域への連続した自然は貴重である	2

※1　潜在候補地リストに挙がっている湿地のほか、委員等より、新舞子海岸、ハチの干潟、天仁屋岬～金武部岬に至る海草藻場、ゆかし潟、熊野江、表浜（伊良湖岬から浜名湖今切口）、六畳潟及び周辺水田等の推薦があったが、選定理由について今後さらなる検討が必要であるため、今回のリストに掲載していない。

※2　基準2のみに該当するイトウの生息地については、重要な生息地が含まれているかどうか確認予定。

※3　基準6のヒシクイについては、亜種ヒシクイと数が統合されている可能性があるため確認予定。